

# 日刊 動労千葉

86. 2. 13

No. 2166

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

# 国労東京の労働者に訴える 線見拒否、妥結拒否で共にたたかおう

国労東京のみなさん。「61・3ダイ改」―業務移管阻止闘争は最大の山場を迎えている。動労千葉は十二日の執行委員会で二・一五成田・千葉転・津田沼を拠点とする二四時間ストを決定した。労働組合の破壊、十万人首切り要員生み出しのための攻撃におめおめと従えるか。業務移管は線見ぬきには強行できない。「61・3ダイ改」阻止は全く可能だ。今こそ線見を拒否し、妥結を拒否し共に闘おう。

## 業務移管粉碎のチャンスがきた

国労東京のみなさん。  
業務移管を粉碎できる情勢が切り拓かれつつある。

動労千葉は、連日線見阻止に決起し、十二日からは、強力順法、十五日には、二四時間スト突入を決定した。

国労千葉地本も津田沼・千葉転を中心  
に線見阻止の大衆行動が連日闘いぬかれています。

十日の地本委員会では、執行部に対し  
業務移管阻止へ向けた断固たる方針を出すべきであるという意見が続出した。

線見を強要されている国労東京組合員の怒りもますます高まっている。「こんな屈辱は、はじめてだ」「われわれを裏切り者にさせる組合つぶしだ」「二度といきたくない」「拒否すべきだ」と怒りがうずまいてる。

東京地本に対し、組合員の中から「線見拒否方針を出すべきだ」という要求が出されている。職場から業務移管反対の大衆行動が爆発しようとしている。

国労東京、国労千葉、そして、わが動労千葉の決起によって業務移管を阻止できる情勢が切り拓かれつつあるのだ。

業務移管は、二五基地  
統廃合攻撃だ

業務移管は、直接的には動労千葉つぶ

しの攻撃であるが、本質的には国労破壊の攻撃だ。津田沼の仕業が移管される中野は、これを許せば次には廃止されるのだ。千葉転の仕業が移管される田町は、これを許せば次には横須賀線、総武快速すべてが大船に移管されてしまうのだ。なぜ、今回大船に移管しないのか。それは、業務移管によって田町をつぶそうとしているのだ。

松戸も、61・3で運転区と電車区が分離され、次には廃止攻撃だ。

東京では、今、三局の大規模な仕業移管によって二五の運転基地が廃止されようとしているではないか。その頂点にこの千葉から東京への業務移管攻撃がかけられているのだ。

## 妥結粉碎・線見拒否を貫こう

闘いの爆発を恐れた当局は、十二日十五日の間に国労千葉、国労東京への妥結を強要しようとしている。

国労東京のみなさん。とりわけ松戸・中野・田町のみなさん。妥結を絶対許さず闘いぬけば、勝利できる展望が切り拓かれるのだ。敵は、妥結拒否を恐れている。一方的実施は闘いに火をつけるだけだ。

妥結粉碎、線見拒否を貫ぬき、業務移管を粉碎しよう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！